

TOPPAN

カーボンニュートラル宣言と計画書

**CARBON
NEUTRAL**
Declaration & Achievement Plan

TOPPANエッジ株式会社

2023年12月7日

目次

1. カーボンニュートラルの宣言.....	1
2. 算定対象.....	2
2-1.対象製品	2
2-2.対象範囲	2
2-3.カットオフ対象.....	2
2-4.カットオフ基準.....	2
2-5.対象期間	2
2-6.参照ガイドライン.....	3
3. 算定方法.....	4
3-1.原材料調達段階.....	4
3-2.生産段階	4
3-3.輸送段階	4
3-4.廃棄段階	4
3-5.不確実性と変動性の確認.....	4
4. 算定結果.....	6
5. カーボンフットプリントマネジメントプラン	7
5-1.基準年	7
5-2.GHG 排出量削減目標.....	7
5-3.GHG 排出量削減の取組	7
5-4.オフセット戦略.....	7
6. オフセット	8
7. その他	10

1. カーボンニュートラルの宣言

TOPPAN エッジ株式会社（以下、「当社」）は、脱炭素社会の実現を目指し、中長期計画に掲げた目標達成に向けグループ一体で活動を推進しております。

当社では限られた資源を大切に、有効に活用するとともに、エネルギー使用量、廃棄物の削減やマテリアルリサイクル率向上に取り組むなど、サーキュラーエコノミーの実現に貢献し、社会と企業の持続可能な発展への貢献を目指しています。

この度、脱炭素社会の実現への一環として、デュアルインターフェースクレジットカードの原材料調達、生産、流通、廃棄段階に伴う温室効果ガス（以下、「GHG」）排出量の把握し、GHG 排出量の削減、GHG 排出権の購入を通じてカーボンニュートラルを実現させます。

当社はデュアルインターフェースクレジットカードについて、PAS2060:2014 に従い2022年4月1日から2023年3月31日の期間におけるカーボンニュートラルを達成し、2023年4月1日から2024年3月31日まで維持することを宣言いたします。

2023年12月7日

TOPPAN エッジ株式会社

代表取締役社長 添田 秀樹

- 責任者

TOPPAN エッジ株式会社 代表取締役社長 添田 秀樹

- 対象製品

TOPPAN エッジ株式会社嵐山工場および朝霞工場において生産されたデュアルインターフェースクレジットカード

- 対象範囲

原材料調達、生産、流通、廃棄段階における GHG 排出活動

- 適用期間

2022年4月1日から2023年3月31日に行った活動および2023年4月1日から2024年3月31日に行う活動

- 適合性評価

宣言のタイプ：I3P-3

独立した第三者機関による認証

検証機関：BSI ジャパン

検証完了日：2023-11-28

2. 算定対象

● 2-1.対象製品

TOPPAN エッジ株式会社嵐山工場、朝霞工場で生産されるデュアルインターフェースクレジットカードを対象とする。

● 2-2.対象範囲

原料の調達、生産、流通、廃棄段階における GHG 排出活動を算定対象とし、消費者による使用段階は含まない。



● 2-3.カットオフ対象

以下排出源における活動は対象製品の直接生産に関わらないため、カットオフ対象とする。

- 間接部門における排出
- 対象製品の原材料を除く副資材の排出
- 資本財の使用時以外の排出
- 使用したエネルギーの上流の排出
- 出張・通勤等の従業員の移動に伴う排出

● 2-4.カットオフ基準

GHG 排出量全体への影響が 1%未満と推定される軽微な排出源はカットオフを行ってもよい。なお、カットオフ排出源の累計は 5%を超えないものとする。

● 2-5.対象期間

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日に行った活動および 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日に行う活動

- 2-6.参照ガイドライン
 - GHG プロトコル
 - PAS2060:2014
 - カーボン・オフセット第三者認証基準 Ver.1.1 カーボン・ニュートラル認証

3. 算定方法

算定対象の温室効果ガスは、二酸化炭素 (CO₂)、メタン (CH₄)、一酸化二窒素 (N₂O)、ハイドロフルオロカーボン (HFC)、パーフルオロカーボン (PFC)、六ふっ化硫黄 (SF₆)、三ふっ化窒素 (NF₃) とする。活動量の収集は一次データの取得を基本とし、一次データが得られない場合は二次データを使用する。各排出段階における算定方法は以下の通り

- 3-1.原材料調達段階

原材料が製造されるまでの活動に伴う排出は物量ベースで把握する。活動量はカード1枚当たりの部材毎の重量を算出し、カード生産枚数を乗じることで調達部材の総量を算出する。得られた活動量に対して、対応する排出係数を乗じることで排出量を算出する。排出係数には IDEA (Inventory Database for Environmental Analysis) データベースを使用する。

- 3-2.生産段階

生産の製造に伴う排出はエネルギー使用量から把握する。活動量は請求書ベースのエネルギー使用実績または装置定格電力と稼働実績による推計により算出する。得られた活動量に対して、対応する排出係数を乗じることで排出量を算出する。排出係数には算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧および電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)を使用する。

- 3-3.輸送段階

原材料または製品の輸送に伴う排出は輸送距離、輸送重量から把握する。輸送距離は輸送元から輸送先の陸運、海運、空運それぞれの距離を算出し、輸送重量は 3-1 の原材料重量または製品出荷重量を使用する。得られた距離、重量を乗じてトンキロを算出し、対応する排出係数を乗じることで排出量を算出する。排出係数には IDEA (Inventory Database for Environmental Analysis) データベースを使用する。なお、輸送距離が不明な場合は適切なシナリオを設定し、求めるものとする。

- 3-4.廃棄段階

廃棄に伴う排出は廃棄重量から把握する。製品生産時の廃棄物量は廃棄実績から、販売した製品の廃棄物は総出荷重量から算出する。得られた廃棄物重量に対して、対応する排出係数を乗じることで排出量を算出する。排出係数には環境省サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベースを使用する。

- 3-5.不確実性と変動性の確認

➤ 一部原材料について、デュアルインターフェースクレジットカード1枚の実測値

を用いているため、測定条件による不確実性が含まれる。

- 工場における電力・ガス使用量の一部に按分計算を用いているため、不確実性が含まれる。
- 工場における電力・ガス使用量の一部にシナリオによる推計を含むため、不確実性が含まれる。

4. 算定結果

2022年4月1日から2023年3月31日のデュアルインターフェースクレジットカード製造に係る排出量を以下に示す。

排出量 tCO ₂ e	2022年4月1日～2023年3月31日
原材料調達段階	845.5
生産段階	3,169.9
流通段階	72.0
廃棄段階	185.6
計	4,273.0

排出量 tCO ₂ e	2022年4月1日～2023年3月31日
Scope1	676.4
Scope2	2341.9
Scope3	1254.7
計	4273.0

5. カーボンフットプリントマネジメントプラン

1 項にて掲げたカーボンニュートラルを達成するための、GHG 排出量削減目標、GHG 排出量削減の取組、オフセット戦略を含むカーボンフットプリントマネジメントプランを以下に示す。

- 5-1.基準年
2022 年を基準年とする。
- 5-2.GHG 排出量削減目標
2030 年までに生産段階における排出量を 15%削減、原料調達・流通・廃棄段階も含めた排出量を 10%削減することを目標とする。
- 5-3.GHG 排出量削減の取組
原材料調達段階：サプライヤーエンゲージメント強化による削減
生産段階：工場で使用されるエネルギーの省エネ化、再エネ化
- 5-4.オフセット戦略
5-3.GHG 排出削減の取組に記載の内容を実施した上で削減できなかった残余分についてオフセットを行う。オフセットには吸収系の J クレジット、J-VER、VCS 等のより環境への貢献度の高いクレジットを使用する。2030 年までのオフセット見込み量を以下に示す。

6. オフセット

オフセット対象 GHG 排出量：4,273tCO₂e

クレジット数量	200 tCO ₂ e
認証プログラム名称	J-VER
シリアルナンバー	JP-200-000-000-241-573 ～ JP-200-000-000-241-772
プロジェクト名	木曾三川水源造成公社～水源の森づくりプロジェクト～
プロジェクト実施国・実施地域	日本
プロジェクト期間	2008年4月1日から2011年3月31日
償却日	2023年10月20日

クレジット数量	800 tCO ₂ e
認証プログラム名称	J-VER
シリアルナンバー	JP-200-000-000-065-395 ～ JP-200-000-000-065-622 JP-200-000-000-065-623 ～ JP-200-000-000-065-706 JP-200-000-000-065-772 ～ JP-200-000-000-065-842 JP-200-000-000-066-284 ～ JP-200-000-000-066-358 JP-200-000-000-066-796 ～ JP-200-000-000-067-137
プロジェクト名	三重県宮川上流部 宮川森林組合による持続可能な森林経営促進型プロジェクト
プロジェクト実施国・実施地域	日本
プロジェクト期間	2008年4月1日～2011年1月31日
償却日	2023年10月20日

クレジット数量	1,136 tCO ₂ e
認証プログラム名称	J-VER
シリアルナンバー	JP-200-000-000-317-961 ～ JP-200-000-000-319-096

プロジェクト名	磐城造林(株)社有林における田人町旅人での森林吸収プロジェクト
プロジェクト実施国・実施地域	日本
プロジェクト期間	2008年4月1日から2012年5月31日
償却日	2023年10月20日

クレジット数量	437 tCO ₂ e
認証プログラム名称	VCS (Verified Carbon Standard)
シリアルナンバー	9900-158160685-158161121-VCS-VCU-263-VER-ID-14-674-01012018-31122018-1
プロジェクト名	RIMBA RAYA BIODIVERSITY RESERVE PROJECT
プロジェクト実施国・実施地域	Indonesia
プロジェクト期間	2018年1月1日から2018年12月31日
償却日	2023年10月20日

クレジット数量	500 tCO ₂ e
認証プログラム名称	VCS (Verified Carbon Standard)
シリアルナンバー	9894-156790659-156791158-VCS-VCU-1310-VER-CN-14-2087-01012019-31122019-1
プロジェクト名	CHUDU AFFORESTATION PROJECT
プロジェクト実施国・実施地域	China
プロジェクト期間	2019年1月1日から2019年12月31日
償却日	2023年10月20日

クレジット数量	1,200 tCO ₂ e
認証プログラム名称	VCS (Verified Carbon Standard)
シリアルナンバー	12294-399791673-399792872-VCS-VCU-291-VER-CN-14-2458-01012018-31122018-1
プロジェクト名	GUOLUO GRASSLAND SUSTAINABLE MANAGEMENT PROJECT
プロジェクト実施国・実施地域	China
プロジェクト期間	2018年1月1日から2018年12月31日
償却日	2023年10月20日

7. その他

- 文書類（記録を含む）は、カーボンニュートラルの状態が有効である期間と、その後6年間保持する。
- カーボンフットプリントマネジメントプランは少なくとも12か月ごとに更新する。
- カーボンニュートラル宣言における文書類（記録を含む）は独立した第三者検証機関による検証を受けるものとする。
- カーボンニュートラル宣言期間中に、宣言を無効にする可能性のある変更またはイベントが発生した場合、有効性を回復するために3か月以内に発行する是正措置を講じる、または宣言を撤回する。